2021年 福岡の八女茶栽培暦

「福岡の八女茶」は
いい色 いい味 いい香り

凡例 基本防除 補助防除

（平坦地用）

ＪＡふくおか八女
八女地域農業振興推進協議会八女茶部会
福岡県茶生産組合連合会

農薬使用基準を厳守し、無登録農薬は使用しない。
農薬の空きビン、空袋及び残液の処理は適切におこなう。
薬剤を散布する場合は他作物・河川へ飛散・流出しないようにする。

項目＼月	2			3			4			5			6			7			8			9			10			11	
旬	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中
管理作業 生育と主な	クワシロ防除		春整枝（化粧ならし）		茶苗定植 防霜対策開始						クワシロ防除 中切・深刈更新			浅刈更新			夏整枝 （クワシロ防除）						深耕 （クワシロ防除）			秋整枝				
病害虫防除 防除時期	（1月～2月）			（3月中旬頃）						（5月中旬頃）		（5月下旬頃） 二茶萌芽～一葉				（7月10日頃） 三茶萌芽～一葉期		三茶摘採または刈落し当日か翌日	（8月下旬頃） 秋芽開葉期			（9月上旬頃）			（10月中下旬頃）				
主な病害虫名	クワシロ			ハダニ、サビダニ						クワシロ		炭疽病、もち病 ハダニ ウンカ、スリップス、 カスミカメ				輪斑病、炭疽病、 新梢枯死症		輪斑病、炭疽病、 新梢枯死症、もち病 コカクモン、ウンカ、 スリップス、チャトゲ、 サビダニ、ハムシ	輪斑病、炭疽病、 新梢枯死症 コカクモン、ウンカ、 スリップス、ハムシ ハダニ、サビダニ			コカクモン ウンカ、スリップス、 チャトゲ、サビダニ、 ハムシ			ハダニ、チャトゲ				
農薬名・希釈倍数	ブルートMC 1,000倍			ダニゲッターフロアブル 2,000倍						アブロードエースフロアブル 1,000倍		インダーフロアブル ダニサラバフロアブル ウララDF 5,000倍 1,000倍 1,000倍				カスミンボルドー 1,000倍		ベルクートフロアブル テッパン液剤 マイトコーネフロアブル 1,500倍 1,000倍 1,000倍	フロンサイドSC グレーシア乳剤 2,000倍 2,000倍			ディアナSC ハチハチフロアブル 5,000倍 1,000倍			アタックオイル 100倍				
散布量 ℓ/10a	1,000ℓ			400ℓ						1,000ℓ		400ℓ				300ℓ		300ℓ	400ℓ			300ℓ			400ℓ				
摘採前日数	30日			7日						14日		7日				7日	14日	30日	14日		14日＋被覆日数	14日			最終摘採後				

細根の活動　葉状

防霜対策
①防霜用被覆の開始や防霜ファンの始動は、萌芽前20日頃からはじめる。（早生種は早めに一）
②防霜ファンは始動開始前に作動状況をよく点検し、茶株面のセット温度は事前に調整しておく。（最初の温度設定は2℃）

新梢枯死症の防除
新芽が出開き、硬化した頃（萌芽50～60日後）より発生し始める。
発生時期：三番茶不摘採園では：8月中旬頃から発生。三番茶摘採園では：三番茶芽は7月下旬頃から、秋芽は9月上旬頃から発生。
防除法：摘採直後および新芽生育期に殺菌剤を散布する。

赤焼病の防除
防除時期
●秋整枝直後、12月上旬
コサイド3000（1,000倍）
●発病初期
カスミンボルドー（1,000倍）
●カスミンボルドー散布1ヵ月後
発病進行の場合
コサイド3000（1,000倍）

ハダニ：カンザワハダニ　サビダニ：チャノナガサビダニ　ホコリダニ：チャノホコリダニ　ウンカ：チャノミドリヒメヨコバイ　スリップス：チャノキイロアザミウマ　コカクモン：チャノコカクモンハマキ　エダシャク：ヨモギエダシャク
ホソガ：チャノホソガ　ハスモン：ハスモンヨトウ　クワシロ：クワシロカイガラムシ　チャトゲ：チャトゲコナジラミ　カスミカメ：ツマグロアオカスミカメ　アブラムシ：コミカンアブラムシ　ハムシ：マダラカサハラハムシ

農薬使用基準

殺虫剤		登録番号	系統	希釈倍数	摘採前日数	特性 浸達・浸透移行	特性 速効・遅効	特性 残効性	作用性	適用害虫 ハダニ	サビダニ	ホコリダニ	ウンカ	スリップス	コカクモン	エダシャク	ホソガ	ハスモン	クワシロ	チャトゲ	カスミカメ	アブラムシ	ハムシ	備考
アタックオイル	普	11851	–	100倍	※1		遅	-	-	接														摘採形には散布しない
スターマイトプラスフロアブル	劇	23505	I-25 I-21	1,000倍	14日		速	-	○	食	○	○	○											
ダニゲッターフロアブル	普	22094	I-23	2,000倍	7日		遅	-	◎	食	○	○	○								○			
ダニコングフロアブル	普	23628	I-25	2,000倍	7日		速	-	○	両	○													
ダニサラバフロアブル	普	22034	I-25	1,000倍	7日		速	-	○	食	○													
マイトコーネフロアブル	普	20448	I-20	1,000倍	※2		速	-	○	食	○	○													被覆園散布日数注意
ミルベノック乳剤	普	17722	I-6	1,000倍	7日		速	-	-	食	○	○					○				○		○	
ウララDF	普	21812	I-29	1,000倍	7日		遅	◎	◎	食			○	○								○	●		混用の場合要攪拌 ●：2,000倍
ガンバ水和剤	劇	19641	I-12	1,500倍	14日		遅	○	○	食		○	○	○							○	●			●：1,000倍
コテツフロアブル	劇	19184	I-13	2,000倍	7日		遅	○	○	食	○	○	○	○	○	○					○			○	
コルト顆粒水和剤	普	22797	I-9	2,000倍	7日		遅	○	◎	食			○	○						○	○	○	○		
ハチハチフロアブル	劇	21056	I-21	1,000倍	14日		速	-	○	接	○	○	○	○							○			○	
アファーム乳剤	普	19842	I-6	2,000倍	7日		速	○	-	食			○		○	○	○	○							
エクシレルSE	普	23560	I-28	2,000倍	7日		速	◎	◎	食			○	○	○	○	○	○						○	
カスケード乳剤	普	18500	I-15	4,000倍	7日		遅	-	◎	食	○	○	○	○	○	○	○				○	○			
グレーシア乳剤	普	24185	I-30	2,000倍	14日		速	○	◎	両	○	○	○	○	○	○	○				○			○	
ディアナSC	普	22910	I-5	5,000倍	前日		速	-	-	食				○	○	○	○								
テッパン液剤	普	24023	I-28	1,000倍	3日		速	○	◎	食			○	○	○	○	○				○	○			
ファルコンフロアブル	普	20676	I-18	4,000倍	7日		遅	-	○	食					○	○	○	●							感受性低下注意 ●：8,000倍
マッチ乳剤	普	20016	I-15	2,000倍	7日		遅	-	○	食					○	○	○								
アグリメック	劇	23235	I-6	1,000倍	7日		速	○	◎	両	○	○	○	○	○	○	○				○				
スタークル顆粒水溶剤	普	20811	I-4	2,000倍	7日		速	◎	◎	両					○	○						○	○		
パダンＳＧ水溶剤	劇	18950	I-14	1,500倍	10日		遅	◎	○	食					○	○									
バリアード顆粒水和剤	劇	20618	I-4	2,000倍	7日		速	◎	◎	両					○	○							○	○	
モスピラン顆粒水溶剤	劇	22583	I-4	4,000倍	7日		遅	◎	◎	両					○	○									
アプロードエースフロアブル	普	20106	I-21 I-28	1,000倍	14日		遅	-	◎	両	○	○	○									○	○		
スプラサイド乳剤40	劇	23021	I-1	1,000倍	14日		遅	◎	○	両			○	○	○	○						○		○	
プルートMC	普	22092	I-7	1,000倍	※3		遅	-	○	両												○	○		催奇事故に注意 散布地区制限有

殺菌剤	登録番号	系統	希釈倍数	摘採前日数	特性 治療	特性 浸達・浸透移行	適用病害 炭疽病	輪斑病	新梢枯死症	赤焼病	もち病	褐色円星病	黒葉腐病	灰色かび病	赤葉枯病	備考
インダーフロアブル	普	20616	F-3	5,000倍	7日	○	◎	●								
オンリーワンフロアブル	普	20873	F-3	2,000倍	7日	○	◎	●		○		○	○	○		
スコア顆粒水和剤	普	21284	F-3	2,000倍	7日	○	◎	●			○					
アミスター20フロアブル	普	20574	F-11	2,000倍	14日	○	◎	○	○	●						感受性低下注意
ダコニール1000	普	16823	F-M5	700倍	10日	-	-	○	○	○	●	●	○	○		●：1,000倍
ナリアWDG	普	21795	F-11 F-7	2,000倍	7日	○	◎	○	○	○	○	○	○		○	感受性低下注意
ファンタジスタ顆粒水和剤	普	23102	F-11	3,000倍	7日	○	◎	○	○	○						感受性低下注意
フロンサイドSC	普	18750	F-29	2,000倍	14日	-	-	○	○	○	○	○	○			
ベルクートフロアブル	普	19884	F-M7	1,500倍	7日	-	-	○	○							
カスミンボルドー	普	14625	F-24 F-M1	1,000倍	30日	○	◎	○	○	○	○		○			
コサイド3000	普	22533	F-M1	1,000倍	14日	-	-	○		○	○	○	○	○		
ベフドー水和剤	普	16104	F-M7 F-M1	500倍	7日	-	-	○		○	○	○	○	○		混用の場合要攪拌

摘採前日数（※1：春芽発芽前または摘採直後　※2：14日＋被覆日数）
適用病害虫（○：適用あり　●：登録あり　空白：適用なし）
殺菌剤特性（浸達・浸透移行　○：浸達　○：浸透移行）
殺虫剤特性（浸達・浸透移行　○：浸達　○：浸透移行）
適用病害虫（○：適用あり　空白：適用なし）
殺菌剤特性（治療　◎：治療・予防　○：予防）
殺虫剤特性（速効・遅効　速：散布24時間までに効果発現　遅：散布24時間以降に効果発現）
殺虫剤特性（残効性　－：なし　○：2週間　◎：10日～1カ月）
殺虫剤特性（作用性　食：食毒・接触　両：両用　接：接触　食：主に食毒　接：主に接触）
適用病害虫（○：適用あり　空白：適用なし）
左記薬剤の希釈倍数と異なる倍数で適用ありの場合（倍数は備考に表記）

農薬混用事例表

◎：使用直前の混用可
○：混用してよい
▲△×：混用してはいけない物理性・効果低下などの点で問題がある混用で凝集するが攪拌すれば可

殺虫剤＼殺菌剤および殺虫剤		ハダニほか アタックオイル(乳)	スターマイトプラス(FL)	ダニゲッター(FL)	ダニコング(FL)	ダニサラバ(FL)	マイトコーネ(FL)	ミルベノック(乳)	クワシロ・コカクモン・ウンカ・スリップスほか アグリメック(乳)	アファーム(乳)	アプロードエース(FL)	ウララ(DF)	エクシレルSE(FL)	カスケード(乳)	ガンバ(水)	グレーシア(乳)	コテツ(FL)	コルト(WG)	スタークル(SG)	スプラサイド40(乳)	ディアナSC(FL)	テッパン(液)	パダン(SG)	ハチハチ(FL)	バリアード(WG)	ファルコン(FL)	マッチ(乳)	モスピラン(SG)
炭疽病・輪斑病ほか	アミスター20(FL)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	○
	インダー(FL)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	オンリーワン(FL)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	カスミンボルドー(水)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	○
	コサイド3000(DF)			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○
	スコア(WG)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	ダコニール1000(FL)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	ナリア(WG)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	ファンタジスタ(WG)		○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	フロンサイドSC(FL)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	ベフドー(水)	×							○	○	○	○	○	○	○	○	○	▲	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	ベルクート(FL)		○	○	○	○	○	○	▲	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
クワシロ・コカクモン・ウンカ・スリップスほか	アグリメック(乳)		-		○		○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	アファーム(乳)		○	-	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	アプロードエース(FL)	○		○	○	○	○	○	○	-		○	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	ウララ(DF)		○	○	○	○	○	○	○	○	○		-	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	△	○	○	○	○	○
	エクシレルSE(FL)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	-		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	カスケード(乳)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	ガンバ(水)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	グレーシア(乳)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	コテツ(FL)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-		○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
	コルト(WG)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	スタークル(SG)		○	○	○	○	○	○	◎	○	○	◎	◎	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
	スプラサイド40(乳)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	-		○	○	○	○	○	○	○	○
	ディアナSC(FL)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-		○	○	○	○	○	○	○
	テッパン(液)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-		○	○	○	○	○	○
	パダンSG(溶)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
	ハチハチ(FL)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○		○	○	○	○
	バリアード(WG)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○
	ファルコン(FL)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○
	マッチ(乳)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
	モスピラン(SG)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

乳：乳剤、水：水和剤、液：液剤、溶：水溶剤、DF：ドライフロアブル剤、FL：フロアブル剤、WG：顆粒水和剤、SG：顆粒水溶剤

煎茶園施肥基準（kg）

肥料名	保証成分量（%） N	P	K	Mg	春肥 2月 上	2月 中	2月 下	3月 上	3月 中	3月 下	4月 上	4月 中	4月 下	夏肥 5月 上	5月 中	5月 下	6月 上	6月 中	6月 下	7月 上	7月 中	7月 下	秋肥 8月 上	8月 中	8月 下	9月 上	9月 中	9月 下	年間施用量（kg）	年間肥料成分量（kg） N	P	K	Mg
八女茶SCU配合	8	2	3	3	120			120																				240	19.2	4.8	7.2	7.2
硫安	21	0	0	0							60																	60	12.6	0.0	0.0	0.0
アミノ有機ペレット	12	2	2	3										60						40								100	12.0	2.0	2.0	3.0
粒状苦土石灰	0	0	0	10																	100							100	0.0	0.0	0.0	10.0
八女茶2号配合	5	4	4	3																			100		100			200	10.0	8.0	8.0	6.0
（kg）	上記の通り施肥すると石灰42kg・苦土26.2kgとなります。																											合計	53.8	14.8	17.2	26.2

良質茶多収へ土作り

○未熟堆肥は避け、根を傷めない完熟堆肥を0.5～2t 施す。
○土壌の通気性、有効土層確保のために、9月上中旬頃に深耕する。
○根を健全に生育させるため、土壌pHが4～5になるように石灰質資材を施す。
○施肥の効果を上げるために、中耕する。
（有機物施用の効果）
1．植物の生育に必要な要素を含む。
2．養分の保持力が向上する。
3．土壌の物理性を改善する。
4．土壌微生物が増加する。

有機物の成分量（%）

有機物名＼成分	N	P_2O_5	K_2O	有機物名＼成分	N	P_2O_5	K_2O	CaO	施用量(t)
稲わら	0.56	0.16	1.71	鶏 乾燥ふん	3.8	4.6	2.0	8.3	0.5
小麦わら	0.32	0.18	1.76	鶏 発酵ふん	1.4	2.6	1.2	2.6	1.0
大麦わら	0.43	0.17	1.99	牛 乾燥ふん	1.1	1.7	1.2	1.6	1.5
米ぬか	2.2	3.4	2.2	牛 発酵ふん	0.7	0.6	0.9	0.6	2.0
おがくず	0.11	0.07	0.13	豚 乾燥ふん	2.6	4.6	1.5	3.3	0.5
樹皮	0.5	0.3	0.1	豚 発酵ふん	1.6	2.8	1.1	1.8	1.0

（農業技術大系より）

☆冠茶被覆基準☆

被覆資材	遮光率	被覆期間	被覆開始時期
化学繊維すまき稲わら	65%以上	7日以上	2.5～3葉期

（注意事項　◎適期摘採を心掛けること）

病害虫に関する情報は、病害虫防除所・JAふくおか八女のホームページで提供中です。

【暦に載っていない農薬等を使用する場合は、普及指導センター、JA、関係機関へお尋ね下さい。】

2020年10月1日現在